



「当事者の声を聞け」と厚労省に向かってシュプレヒコールをする参加者＝4日、東京都千代田区

「生活保護また削減か」

基準部会開催の
厚労省前で訴え

生活保護や貧困問題
に取組む団体は4
日、社会保障制度審議
会の第14回生活保護基
準部会が開かれた厚生
労働省の前で、「生活
保護費をこれ以上削る
な。生活できない」と
宣伝しました。

生活保護利用者の日
用品の購入にあてられ
る生活扶助が8月から
切り下げられたばか

り。同部会は、さらに
母子加算などの加算制
度や医療扶助などの扶
助制度、控除などの改
悪を狙っています。

マイクで訴えたの
は、老齢加算の復活を
求めて活動する「生存
権裁判を支援する全国
連絡会」の前田美津恵
事務局長です。生活扶
助切り下げによって最
も影響を受けた子育て
世帯の母親の「子ども
を高校に進学させられ
るか不安」という声を
紹介。一度廃止され、

生存権裁判と国民運動
で復活した母子加算
が、また見直しの対象
にされることを批判し
ました。

自立生活サポートセ
ンターもやいの稲葉剛
代表理事は「切り下げ
でどれほど当事者が困
窮したか、基準部会は
検証せよ」と訴えまし
た。

40代の男性は「生活
保護費を最大で10%切

り下げ、消費税を10%
まで引き上げるなんて
生活できない。切り下
げの取り消しを求めて
審査請求したが却下さ
れた。即刻、国に再審
査請求した。勝つまで
たたかうぞ」と力をこ
めました。